



幸せをつないで社会をかえる 「ハピネスクリエイター」

日野 至 (小学3年生：東京都)

ぼくは、ゲームをする人が楽しくなれる、みんなでつながり、みんなであわせになれるゲームをかんがえました。

「社会を変える」ということは、もっとよりよい社会にすることだと思います。さいきん、せんそうやかなしいニュースを聞かない日はありません。だから、よりよい社会にすることとは、みんなが笑顔で明るいニュースが多い世の中にあることだと思います。

ぼくは、せんそうがなく、よりよい世界を自分で作れるゲームを考えました。幸せを育てて、せかい中に幸せをあふれさせるゲームです。名前は「ハピネスクリエイター」です。

「ハピネスクリエイター」のさんかしゃは、うでにスマートウォッチのようなきかいをうでにつけます。自分が幸せを感じたらうでにつけたきかいが感じ取り、キラリと光り、「あ、自分は幸せなんだ、いいことがあったんだ」とわかります。そのおかげで、自分が気付いていない幸せにも気づくことができます。そして、ゲームの世界でポイントがたまります。また、自分と同じ幸せを感じた人がせかいのどこかにいたら、ちがう色で光ってしらせてくれます。きっとそれを見たら、また幸せな気持ちになると思います。

このゲームにきょうそうはありません。せかいの人が小さな幸せでつながって、幸せを大きくしていくゲームです。

せかい中の幸せがあつまってポイントがたまると、かなしかったりこまったりしている人を助けられる何かにかえることができます。

「ハピネスクリエイター」は自分と誰かの幸せをつないで、幸せを大きくできるゲームです。みんなが楽しめるから幸せを生み出せると思います。そして、きっと社会が変わっていくと思います。